

工 学 院 長 岩 附 信 行  
物 質 理 工 学 院 長 和 田 雄 二  
環 境 ・ 社 会 理 工 学 院 長 岸 本 喜 久 雄  
(公印略)

## 工系 3 学院学生国際交流プログラムによる 派遣学生の募集について(通知)

このことについて以下のとおり通知します。

プログラムの詳細については、必ず以下のウェブサイト(プログラムガイドライン)を確認し、その趣旨に同意する場合、応募してください。

<http://www.eng.titech.ac.jp/international/support.html>

※ HP 上の表記「工学系」(旧)は「工系 3 学院」と読み替えてください。

### 記

- **募集カテゴリー:(C2)~(C4)**
  - ※ 物質理工学院所属学生で(C3-a)に応募する学生は、物質理工学院による選抜に別途合格する必要があります。詳細は [mat\\_kokusai@mac.titech.ac.jp](mailto:mat_kokusai@mac.titech.ac.jp) にご確認ください。
- **渡航開始:平成 29 年 9 月~平成 29 年 11 月**
- **派遣対象学生:工系 3 学院(工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院)の正規修士課程 1 年生以上**
  - ※ 平成 29 年 4 月 1 日現在
  - ※ 社会・人間科学系/イノベーション科学系/技術経営専門職学位課程は除く
  - ※ 博士後期課程学生は、指導教員の所属学院に準ずる
- **応募書類締め切り:平成 29 年 5 月 24 日(水)17:00 厳守**
  - ※ 期日後は理由の如何に関わらず受理できません。
- **面接日:平成 29 年 5 月 31 日(水)午後**
  - ◆ 応募者多数の場合は、提出された申請書に基づき、事前に書類審査を行う場合があります。その際は書類審査通過者にのみ、面接時刻の連絡をします。
  - ◆ 正当な理由で指定日に面接に来られない場合、以下の通りとします。  
応募申請時のみ、別日での面接希望申し立てを受け付けます。  
(但し、応募学生および指導教員による**理由書(別紙様式)**要添付)
- **必要書類:**
  - ① **申請用紙(別紙様式)**
    - ※ 必ず最新の様式を使用してください。
  - ② 英文履歴書(様式任意・**別紙サンプル**)
  - ③ 工系学生国際交流プログラムの語学要件証明書コピー
    - ※ 本プログラム応募に際しての語学要件は、各派遣先大学が設定する留学受入の語学要件とは異なります。別途、事前に派遣希望先大学で求められる語学要件を各自が確認し、取得してください。(C2)については、補足2のリンク先を参照してください。
    - ※ 応募締め切り後のスコアの追加・差替提出を希望する場合は、面接時、直接面接員へ提出してください。
  - ④ 成績証明書
    - ※ 和文(教務 web システム成績閲覧画面のコピー可)および英文の両方
    - ※ 前年度の成績が必ず含まれており、前年度の履修科目にマークをつけること
    - ※ 前年度、他大学に在籍していた場合は、時間に余裕をもって取り寄せておくこと

⑤ 理由書

- ※ C3-b において、[派遣交換留学プログラム](#)に応募できない場合および不採択の場合
- ※ C4 応募者すべて(応募者および系・コース長または指導教員作成による様式)

- ◆ 記入誤りや提出書類の不備がある場合は受理できません。各自で確認のうえ提出してください。
- ◆ 書類は全て右記の様式で提出してください：・A4 サイズ ・両面印刷不可 ・クリップ留め
- ◆ 提出応募書類一式は採択の可否の判断にのみ利用し、返却いたしません。
- ◆ 語学要件以外の各大学独自の提出物がある場合は、派遣採択決定後、工系国際連携室が指定する日時までに提出してください。

■ 提出方法:いずれも上述の応募書類締め切り日時を厳守すること

1. 紙媒体:①・②・③・④(学内便または持参)
2. 電子媒体:①:Word ②:PDF (Email 送付)

■ 選考通知:

- ◆ 学内選考後 1 週間以内を目途に、応募者本人および指導教員へ選考結果を通知します。
- ◆ 個別の選考結果に関する問い合わせには回答出来ません。

■ 問い合わせ先/書類提出先:

工系国際連携室(本館 2 階 50 室)  
 学内便:H-106  
 内線:3969  
 Email:[ko.intl@jim.titech.ac.jp](mailto:ko.intl@jim.titech.ac.jp)

■ 補足1:

プログラム(C2)から(C4)の大学への派遣を希望する学生は、前年度の成績を元に以下の計算式に従って係数を算出し、申請用紙に記載すること。また(C2)の大学については、選考時の前年度 GPA が 2.30 以上であることが応募条件となる。

※ 但し、(C2)については、協定大学によって、要件が異なる場合があるので、以下補足2のリンク先を参照してください。

成績評価係数(GPA)の算出方法

|              | 成績評価    |         |        |        |       |
|--------------|---------|---------|--------|--------|-------|
| 4段階評価(パターン1) | —       | 優       | 良      | 可      | 不可    |
| 4段階評価(パターン2) | —       | A       | B      | C      | F     |
| 4段階評価(パターン3) | —       | 100~80点 | 79~70点 | 69~60点 | 59点以下 |
| 5段階評価(パターン4) | 100~90点 | 89~80点  | 79~70点 | 69~60点 | 59点以下 |
| 5段階評価(パターン5) | S       | A       | B      | C      | F     |
| 5段階評価(パターン6) | A       | B       | C      | D      | F     |
| 成績評価ポイント     | 3       | 3       | 2      | 1      | 0     |

$$\frac{[\text{評価ポイント3の単位数}] \times 3 + [\text{評価ポイント2の単位数}] \times 2 + [\text{評価ポイント1の単位数}] \times 1 + [\text{評価ポイント0の単位数}] \times 0}{\text{総登録単位数}}$$

■ 補足 2: (C2) AOTULE 協定大学派遣要件(2017 年度)

(C2)に応募する学生は、[派遣要件リスト](#)を確認の上、応募してください。

※ 新たな要件が追加されることがあります。申請書提出時の 工系 HP > 最新情報 を確認してください。

■ 補足 3: よくある質問

[よくある質問](#)も参照してください。